

釧路南ロータリークラブ会報

第46回 例会報告 2010.6.11 通算1352回

・点 鐘 工藤会長

・ロタリーソング

「我等の生業」 ソングリーダー 菅井 紀之会員

・入会記念祝

木内 治彦会員 H 13.6.15 (9年目)



・会長挨拶



皆様こんにちは。先週、6月5日(土曜日)は、白糖RC50周年記念式典の周年行事でした。会長・幹事ご招待と言うことで出席させて頂きました。何と言ったら良いか、心が和むと言いましょうか、せ

のびをせず、精一杯のおもてなしを頂き、優しさを感じさせる、その様な周年行事でした。競馬ゲームでは私と幹事が当たり券を当て、大抽選会では、私、特賞を頂きました。だから、楽しかったと言う訳ではありません。本当に、心が和む周年行事でとても良かったです。

6月6日(日曜日)は、阿寒町の赤いベレーにて、飲酒運転撲滅及び交通事故防止チャリティーキャンペーンのパークゴルフと言うことで、第7分区の各クラブより、合計約40名近い出席がありました。出席された会員の皆様、朝早くから本当にありがとうございました。佐野実行委員長のおかげと、会員の皆様のおかげで無事終了する事ができました。

6月8日(火曜日)財団法人 釧根地区交通育英会 専務理事の鈴木様に佐野実行委員長と一緒に寄付をして参りました。今回は最高額の13万円以上になりました。

詳細については後日、皆様にお知らせいたします。

また、6月10日(木曜日)釧路新聞朝刊に、この記事が載っております。



口蹄疫被害救援支援金のお願いについて、幹事の方からお話があると思いますが、私は口蹄疫の新聞記事を読んで涙が止まらなくなった事があります。さらに、今度は宮崎県都城市（みやこのじょうし）でも、感染の疑いが強いと発表され昨日 208 頭殺処分との事です。これ以上感染が、広がらない事を祈るしかありません。

・幹事報告



- * 6月4日、例会終了後、さわらび学園へパークゴルフ用品4セットを寄贈をしまいいりました。
- * 厚岸ロータリークラブより、5月の会報を拝受しております。
- * ガバナー会より、宮崎県の口蹄疫の義援金のお願いがきておりますので拠出の手配をいたします。

・委員会報告

親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金

木内 治彦会員 入会記念祝として

出席委員会

会員 25 名 13 名出席 52%

・本日のプログラム

「次年度活動計画発表」

担当 次年度会長・幹事

木内治彦次期会長



会長方針

2010～2011 年度

釧路南ロータリークラブ会長 木内 治彦

2010～2011 年度

国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス
BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS
RI テーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」

「ロータリアン以外の人々にロータリーの目的を説明すること」

「ロータリアンにロータリーの原点の重要性を再認識してもらうこと」

2つの目標を掲げております。

国際ロータリー第 2500 地区 柴田 和明ガバナーの地区活動基本方針 5 項目、地区目標を 11 項目、地区強調事項 5 項目を提唱されました。

地区活動基本方針

- 1、地区の活性化
- 2、地区委員会の構成
- 3、地区内クラブのネットワークの在り方
- 4、情報の在り方（都市から離れた小クラブ）
- 5、地区指導者育成（地方小クラブ）

地区目標

1. ポリオ撲滅運動の推進
2. 会員増強・退会防止
3. 新クラブの創設
4. ロータリー財団への協力
5. 米山記念奨学会事業への協力

6. 水・識字率の向上
7. 新世代部門活動に対する理解
8. 自然環境保護に対する理解
9. ロータリー広報活動の推進
10. 国際大会への参加
11. R I 会長賞に挑戦

地区強調事項

- 1) 職業倫理の推進
- 2) 会員増強・退会防止（新入会員 1 名増）
 - ロータリー研修委員会を設置する
 - パスト会長をリーダーに
 - 3 年未満の会員の教育を実施
- 3) ロータリー財団（ポリオ）の支援
- 4) 米山記念奨学会に協力
- 5) 自然環境保護

釧路南ロータリークラブ重点目標

1. 会員増強・退会防止
2. 継続事業の実施と検討
3. ロータリー財団、米山記念奨学会への目標の遂行
4. 出席率 100% 例会を実施
5. 全会員によるクラブ例会運営
6. CLP 導入後の再検討

本年度会長としての最重点目標を、会員増強に掲げ、一会員一名の増員を、次年度創立 30 周年事業を成功させる道筋を作り、釧路南ロータリークラブの繁栄と発展に寄与することを誓いたいと思っております。

菅井紀之次期幹事



工藤ゆかり次期クラブ運営委員長



クラブ運営（奉仕）委員会は、ロータリーの四大奉仕委員会の中でも、特に重要な委員会だと言っても過言ではありません。

さらに、クラブ運営（奉仕）委員会は、出席プログラム委員会・クラブ会報委員会・親睦活動委員会の三つの小委員会を取りまとめクラブの活性化、クラブをより活動的に、そして、より友好と親睦の為に各小委員会との連携を密にし、活動していきたいと思っております。

さらに、楽しい例会で出席したくなる様な例会をめざし、退会者をなくし、会員増強にも力を入れて行きたいと思っております。

また、R I のテーマ「地域を育み、大陸をつなぐ」をテーマに、各委員会が活発な奉仕活動が出来るよう努めます。

今年度の重点目標

1. 会員や家族にロータリーへの理解を深められるように、楽しい例会を心がけ出席率向上を目指します。
2. 会員増強と退会者の防止を常に忘れないよう心がけます。
3. 会報に協力をお願いを会員全員にお願いします。

佐野 実次期クラブ管理委員長



当委員会の役割は、クラブを効果的に運営管理するための活動をより着実に実践してクラブの効率化を図ることです。クラブ運営委員会と強調しあって機能的なクラブ管理が出来るように務めます。

活動目標

- 会員増強のための行動計画を立て実施する。
(南ロータリークラブへの入会案内の製作)
- 新会員のオリエンテーション強化
- IT化によるウェブサイトやメールの強化

福井克美次期奉仕プロジェクト委員長



奉仕プロジェクト委員会は、私たちの各ロータリークラブが国際ロータリーに加盟していることを再認識して地元の地域社会や他国の地域社会に対して、教育的、人道的、物質的な奉仕活動と資金的寄付とプログラムの参加を通じて、ロータリー財団を支援することです。次年度は、CLP導入して2年目にあたり、CLPの最大の狙いは「効果的なクラ

ブ」であります。奉仕プロジェクト委員会は、その「効果的なクラブ」を構築する上で基幹の委員会という認識をもち、担当する四委員会について事業を実施していきます。

1) 職業奉仕委員会

ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調し、職場訪問を実施し、職業について幅広く学習する。

2) 国際社会奉仕委員会

RIの強調事項に水問題、保健飢餓救済、識字率向上があります。世界社会奉仕の理解と協力、青少年交換の活動への協力、国際大会への参加奨励、献血や障害者施設の訪問と交流、その他地域に必要とされる奉仕活動を実施する。

3) 環境新世代委員会

青少年への奉仕プログラムのライラセミナーへの参加。植樹の実施、公園などのゴミ拾いなどによる環境向上の実施。

4) ロータリー財団・米山奨学会委員会

ロータリー財団・米山奨学会への理解と協力



・ 次回のプログラム

6月18日(金)

「この一年を顧みて」

会場 釧路ロイヤルイン 11階

担当：会長・幹事

・ 点 鐘 工藤会長
今週の会報担当：長江 勉会員